

# ～蒲田映画祭新企画～

あなたの大切な映画の思い出を冊子に残しませんか？

## わが人生の思い出の映画たち

映画は貴重な人生の思い出。

あの日、あの時、あの映画館で観た映画、一緒に観たのは家族、友人、または初恋の人？

あなたの思い出の映画を、短い文章と1枚の写真に託せば、冊子の中でその思い出が甦ります。

「蒲田映画祭」の新企画に是非ご参加ください。

参考制作例

### 応募要領

- ①映画作品名
  - ②サブタイトル（③のタイトルをつけてください）
  - ③200～300字の文章
  - ④写真1枚
  - ⑤お名前またはペンネーム  
を添えて、氏名、年齢、住所、連絡先を明記のうえ、ご応募ください
- ※ホームページに参考様式掲載

### 応募方法

メール、郵送、持参のいずれか

- メールの場合 cinepara@o-2.jp
- 郵送または持参の場合

〒144-0035

大田区南蒲田1-20-20 大田区産業プラザ2階

大田観光協会「思い出の映画たち」募集係

### 募集締切

9月16日(祝月) 必着

### お問い合わせ先

一般社団法人大田観光協会 TEL 03-3734-0202

主催：一般社団法人 大田観光協会

協力：一般社団法人 自分史活用推進協議会

### 注意事項

- ・応募作品は大田観光協会に帰属します。応募作品は返却いたしませんので、写真現物の応募の際はご注意ください。
- ・個人情報については厳重に管理し、記念冊子の郵送のみに使用いたします。
- ・写真被写体の肖像権等責任については、当協会では負いかねます。第三者から苦情等があった場合については、応募者ご自身で対応いただきます。
- ・一部作品（約20作品）につきましては、10月19・20日の「おとおかい観光展」展示場内にて展示いたします。

①映画作品名「二十四の瞳」

②サブタイトル「私の大石先生」

③小学校6年生の時のことだが、先生に引率されて皆で観に行った映画が「二十四の瞳」だった。戦争を挟んで哀しい運命に翻弄される二十四の瞳の子供たちに私の胸は締め付けられ涙が滲んだ。映画館全体に悲しみと感動の渦が広がっていたように記憶している。同時に高峰秀子演じる大石先生の姿に私の幼稚園時代の先生が重なった。戦後間もない負しい時代にもかかわらず、先生と一緒に過ごす時間は楽しくて仕方がなかった。幼稚園の前の松林を通り過ぎると真っ青な海が広がっていた。それは映画の瀬戸内海ではなく湘南の海。先生と一緒に見た遥かなる富士山の美しさは忘れられない。

⑤ 蒲田 映太郎



④(ご本人に関係する写真でご応募ください)

※この事業は「(公財) 東京観光財団 地域振興助成事業助成金」を活用して実施しています。